

第3回『次世代リーダー養成アカデミー(PMネットワークミーティング)』開催



平成23年5月20日、JISA会議室で第3回次世代リーダー養成アカデミー（PMネットワークミーティング）が開催された。参加者は、受講者21名、講師及び運営委員等14名、計35名。

本アカデミーは、プロジェクトマネージャー(PM)を中心に次代を担うリーダー達のレベルアップとコミュニティ形成の場として3回開催され、特に女性の活躍拡大に繋がることを目指して実施され、今回が最終回だった。

当日は、春日正好副会長（企画委員長）より「知恵と創造によるイノベーションの実践」と題し、自身の経験に基づくリーダー論の講演が行われた。リーダーは、「一将功なりて万骨枯る」を自覚し、日頃から勉強と人づくりを行い、常に先のことを考え続けることが重要である。また、リーダーは「斯くありたい」という志を持つことが大切であると説いた。

その後、「第1テーマ:情報サービス産業の将来展望」及び「第2テーマ:イノベーションを実現するための会社を作る」についてグループディスカッションを行った。第1テーマでは、情報サービス産業が現在置かれている環境を認識し、これからどんな変化が起こり、それに対応するためにはどうすればよいかを議論した。また、第2テーマでは、日常の業務から目線を上げ、「会社をつくる」という行動を想定し、経営ビジョン、事業・市場戦略、人材戦略、将来像を考えた。各グループからは、グローバル化に対応した市場戦略や人材戦略などが発表され、自らの強みを活かした事業展開等について議論が行われた。

次世代リーダー養成アカデミーは、第一期受講生29名により3回連続で開催され、神山副会長の「私がプロジェクト管理で今日までに取り組んできたことからの問題提起」（第1回）、太田副会長の「新しい時代に呼応したこれからのプロジェクトマネジメント」（第2回）、春日副会長の「知恵と創造によるイノベーションの実践」（第3回）と業界リーダーの知見に触れてきた。また、会社は異なるが同じような立場で同じような課題を抱える各自が情報交流を出来るコミュニティ作りの契機にもなった。

本アカデミーは、平成23年度にも新たな企画により実施する予定である。

(手計)